

# ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN 2013-2014 WEEKLY REPORT

ロータリーを  
実践し



みんなに  
豊かな人生を

## 名古屋名南ロータリークラブ

■承認 / 1991年3月8日 ■例会日 / 火曜日・PM6:30 ■例会場 / 名古屋マリオットアソシアホテル  
■会長 / 白藤 憲雄 ■幹事 / 本多 利郎 ■会報・雑誌・広報委員長 / 安藤 修  
■事務局 / 〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル 2202号  
TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail [info@meinan-rotary.com](mailto:info@meinan-rotary.com)

2013-14年度 国際ロータリー会長 ロンD.バートン

## ガバナー補佐訪問

### 第1059回

2013年8月20日(火) 晴 第7回

～ 会員増強及び拡大月間 ～

斉唱	奉仕の理想
出席	会員56名(出席率算入人数49名) 出席42名 出席率85.71% 前々回補填率97.87%(7月30日分)
ゲスト	ガバナー補佐 川原 弘久さん 地区副幹事 杉浦 澄雄さん 分区幹事 松尾雄二郎さん 分区副幹事 和田 直美さん

### 会長あいさつ

会長 白藤 憲雄さん

皆さま、こんばんは。本日はガバナー補佐の訪問日です。16時よりガバナー補佐の川原さん、地区副幹事の杉浦さん、分区幹事の松尾さん、分区副幹事の和田さんをお迎えして、会長幹事懇談会が行われました。その中で、ガバナー補佐の川原さんより、出席率についてお褒めの言葉をいただきました。引き続きクラブ協議会が行われ、当クラブの委員長さんに17時より18時20分まで出席していただき、色々ご指導いただきました。これを参考に今後のクラブ運営に活かされていけばと考えております。

この後、ガバナー補佐の川原さんより卓話をお願いしております。皆さまご清聴を宜しく願いし、会長あいさつとします。



### 幹事報告

幹事 本多 利郎さん

10月5日(土)地区補助金事業案内、また10月15日(火)職場例会の案内も一緒に入っています。出欠を早めをお願いします。

### ニコボックス

- ◆西名古屋分区ガバナー補佐 川原弘久さん、RI第2760地区副幹事 杉浦澄雄さん、西名古屋分区幹事 松尾雄二郎さん、西名古屋分区副幹事 和田直美さんより、過分に頂戴いたしました。
- ◆川原ガバナー補佐の訪問をクラブ会員一同心から歓迎致します。ごゆっくりご歓談ください。  
小山 慎介さん

- ◆ガバナー補佐 川原弘久さん、地区副幹事 杉浦澄雄さん、分区幹事 松尾雄二郎さん、分区副幹事 和田直美さんをお迎えして。

新原 尚さん 加藤 英敏さん 森田敏二三さん  
田子 充浩さん 浅井 浩さん 大平 明子さん  
佐々木 暢さん 山本 誠一さん 木下 福郎さん  
鈴木 一博さん 細井 俊男さん 川辺 清次さん  
三浦 隆さん 入谷 直行さん 中西 芳子さん  
武藤 正行さん 中村 勝さん 長尾 浅吉さん  
久米 伸治さん 吉木 邦男さん 田中 一雄さん  
鈴木 清詞さん 榊原 和美さん 宮崎 良一さん  
川瀬 悟さん 坂本 晃さん 杉本 勇さん  
川村 繁生さん 東山 直史さん 本多 利郎さん  
朝比美和子さん 安藤 修さん 白藤 憲雄さん  
牧野 好弘さん 大橋 さなえさん

本日合計 57,000円 累計 262,000円

### 委員会報告

- 青少年奉仕委員会 委員長 武藤 正行さん  
青少年奉仕委員長の武藤でございます。

8月1日に、愛知県警の少年柔道剣道大会に行きまして。当クラブより参加者全員に、ノート、筆箱、ボールペン等を配布させていただきました。ご協力ありがとうございました。

### アンチエイジングエクササイズ

中村 勝さん

### ガバナー補佐卓話

ガバナー補佐 川原 弘久さん

高い所から失礼いたします。ただ今ご紹介をいただきました、西名古屋分区ガバナー補佐を拝命いたしました、名古屋丸の内RCの川原でございます。

先程、白藤会長からお話がありましたように、会長幹事懇談会、クラブ協議会へ出席させていただきました。何と言っても大変評価できる事は、楽しい例会を通しながら、例会出席率が非常に素晴らしい所です。

会員増強については、このクラブには小山さんがおられるので、色々アドバイスを受ける機会があるかなと思っています。

最初に地区の方から皆さまにこれだけは伝えてほしいという事からお話させていただきます。すでに、クラブ計画書に載っておりますので大変申し訳ない



ですが、ご覧のように2013年から2014年のテーマは「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」となっています。英語で、「エンゲージロータリー、チェンジライブス」です。「チェンジライブス」とは、私はロータリアンに向けられた言葉だと思っていますので、そのまま「チェンジライブス」という言葉の方を使った方がいいのではないかと思います。これは、私達のロータリーライフを含めてやはり変革して行かなければならないと思っています。

今まで、RIの会長というのは比較的、愛とか平和など抽象的な言葉を述べられる事が多かったのですが、ロン・D・バートンさんは極めて実践的な言葉です。

大きな目標としましては、会員増強の推進、ロータリー財団を通じた人道的奉仕の充実、ロータリーファミリーを通じたネットワークの強化という事です。やはり、バートンさんが一番おっしゃりたいのは、会員増強だと思っています。2760地区のガバナーは田中正規ガバナーです。彼もドクターで、私より7つ年下です。無償で医師会会長もやられた大変真面目な方で真摯に会長業務に務めておられます。田中ガバナーも「磨いて輝こう」という非常に具体的な方針を出されております。ここでも4つの目標を掲げておりまして、会員の意識向上、クラブのパワーアップ、地区の改革、会員増強です。地区の改革は早速、手をつけられましてかなり委員会が減っているはずで、それから会員の意識向上はこれは本当に必要だと思っています。各クラブがロータリー精神に則ってクラブ運営に積極的に参加する事が、会員増強という点でも極めて必要ではないかと思っています。それでもやはり、田中ガバナーが1番強調されたいのは、会員増強ではないかと思っています。また、ロータリー財団の寄付が13,000円という事ですが、実際は150ドルを提唱したらどうだろうという話が出ていまして、150ドルを目標にしていただけると大変いいかなと思っています。

実は私は、ガバナー補佐であります。担当は米山奨学委員会です。米山奨学委員会は、非常に学のある会だと喜んでいましたら、とんでもない話で、年間100回位の会議が開催されました。地区としては普通寄付年間目標額を5,000円としています。東日本震災支援については、高校生のサポートも含めて引き続き、新地区補助金等をお使いいただいて色々な事業をお作りいただけると幸いです。

規定審議会で、今年色々な言葉や文章や内容の変更があるそうです。完璧な日本語訳は12月にならないと各クラブへ配布されないという事なので、今年度中にデータを変更していただければと思います。名南RCではすでに一部取り入れられているとの事で驚いています。

それでは米山の話をしていただきたいと思いますが、少し振り返ってみますと、奨学生は世界121カ国17,000人に及んでいますが、そのうち日本に留学されて学位をお取りになった方が3,331人以上となっています。この中からロータリアンになられた方が150人です。毎年日本には150,000人位、留學生がいます。愛知県でも1,000人位います。そのうち実は、米山奨学生を新規採用できるのは、今までわずか33人でした。ところが、今期は23人になりました。これを全国的に見ますと、2年前は、1,000人、昨年度は800人、今年度は700人です。非常に減少してきています。原因は、率直に言わせていただくと寄付金の大幅な落ち込みです。実際に年度決算を見ましたが、収入より支出の方が上回って赤字決算でした。このまま何も手を打たず、この状況が続くと流動金も減少していき、長期になれば底をついてしまいます。この様な厳しい状況があり、米山奨学の委員会の皆さまは必死になってこの状況を改善しようと努力されています。私も実はあまり米山

奨学生について詳しくありませんでした。このようなお役目をいただいて、初めて色々勉強して、その重要性に気がつきました。米山奨学委員会では個人寄付金を1人2万円以上を目標にしています。ロータリアンでしたら私は難しい目標額ではないと思っています。どうか奨学生を元の1,000人に戻す為をお願いいたします。実は今、奨学生が多いのは、台湾、中国、韓国です。昔は日本への留学をみんな希望していました。しかし、昨今は欧米に目がいつているそうです。インドネシア政府も日本への留学を増やす為に、一生懸命努力してくれています。日本語学校を民間で開設したりしています。私は日本にとって最も重要なパートナーであるインドネシアやタイなどのASEANからの日本留学が非常に少なくなっている事が、台湾、中国、韓国への奨学生が増える結果になっていると思います。ASEANからの日本へ留学したいという方向性を作らなければいけません。なぜなら、タイにしてもインドネシアにしても、ベトナムにしても日本に対してとても友好的です。こういう所から多くの奨学生を迎えられるという事は、将来の日本にとっても大事な事になると思います。実際、23人の留學生の中でインドネシアの方はたった1人でした。奨学生を増やす事が大事になり、その基金となるお金が十分でないといけません。しかし、お金だけ集めても奨学生が来ないといけなないので、世界に広く呼びかけていく活動が必要になると思います。今年にはヨーロッパから1人入りしました。もっと幅広く世界からお迎えするには、米山の奨学基金を強化しなければなりません。しかし、奨学基金が減ってきたのは、何と言いましても会員の減少です。ですから、会員増強を米山奨学も大事にしないといけません。

実は、国際ロータリーは2015年までに3年計画で、現在123万人のロータリアンを130万人にするという計画を立てました。これを受けて「サクセス・ジャパン大作戦」と言っておりますが、日本の計画では、2012年に日本のRCの会員数は87,600人ですが、これを2015年までに、95,900人にしたいとしています。平成12年から13年に2,100人、13年から14年に3,050人、14年から15年で4,050人となっています。大変な負荷にはなりますが、これが方針なのでがんばっていきなさいと思います。

今日、名古屋RCへ行った時に、天野幹事が非常に鋭い指摘をされていました。それは、日本やヨーロッパみたいな成熟した国がこんなに増えるだろうかという疑問です。したがってタイやインドネシアのように、これから成長していく国にもう少し意図するような政策が国際ロータリーでは取れないだろうかという話でした。

最後に1つだけお願いしたい事があります。11月2日、3日、4日の3日間に亘りまして、久屋大通で「ワールドフードふれあいフェスティバル」が開催されます。これは一般市民の方にロータリー活動を知っていただく大変いい機会だと思います。とりわけポリオプラスについて訴えたいという願いが込められています。こういうイベントが地区全体で行われます。チケットは1枚2,000円ですが、その内の200円がポリオプラス等、チャリティーへ回る事になっています。どうか、皆さまにできるだけ買っていただきたいと思っています。ご清聴ありがとうございます。

#### 第 1061 回例会 (9月4日) のご案内

4RC 合同ガバナー公式訪問 12:30 ~  
於：名古屋マリオットアソシアホテル  
16F 「タワーズボールルーム」